

地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の 自己評価について

1 要旨

地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）により支援を受けた事業については、毎年度、協議会自らが事業実施の確認、評価（＝自己評価）を行い、その結果を補助金の交付を受けようとする会計年度の1月末までに中部運輸局長に報告することとされています。

本年度も次の事業について支援を受けたので、自己評価についてご協議願います。

2 対象路線

No.	補助対象事業者	路線名	運行形態
1	秋葉バスサービス(株)	袋井駅・中東遠総合医療センター線	自主運行バス
2	遠鉄タクシー(株)	山梨・中東遠総合医療センター線	予約型乗合(デマンド) タクシー
3		浅羽・中東遠総合医療センター線	
4		宇刈地区	
5		浅羽南地区	
6		浅羽西地区	

3 自己評価期間

令和2年10月1日から令和3年9月30日まで

4 目標に対する運行実績・今後の対応方針

(1) 秋葉バスサービス(株)

No.	路線名	R2年度 (R1.10~R2.9) 実績値	R3年度 (R2.10~R3.9) 目標値	R3年度 (R2.10~R3.9) 実績値	達成状況
①	袋井駅・中東遠 総合医療センター線	41.1人/日 (9,903人)	52.1人/日	36.2人/日 (8,790人)	未達成

< R 2 年度 >

R1. 10月~12月:約48人/日
R2. 1月~3月:約38人/日
R2. 4月~9月:約29人/日

< R 3 年度 >

R2. 10月~R3. 3月:約30人/日
R3. 4月~9月 :約43人/日

本路線の利用は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したが、R3.4からは高校生の通学利用が可能となるよう一部路線・時刻を変更したことも起因し、利用者数が回復傾向にある。

【今後の対応方針】①

市内から中東遠総合医療センターへの公共交通として、H25.5月に運行を開始し、R3.4月の改正により高校生の利用も一定数見込まれることから、今後、事業者や高校と連携した周知の継続など更なる利用促進に向けた取り組みを進める。

(2) 遠鉄タクシー(株)

No.	路線名	R2年度 (R1.10~R2.9) 実績値	R3年度 (R2.10~R3.9) 目標値	R3年度 (R2.10~R3.9) 実績値	達成状況
②	予約型乗合(デマンド)タクシー 山梨・中東遠総合医療センター線	1.9人/日 (206人)	2.5人/日	1.8人/日 (115人)	未達成
③	予約型乗合(デマンド)タクシー 浅羽・中東遠総合医療センター線	3.0人/日 (695人)	3.2人/日	2.8人/日 (665人)	未達成

山梨・中東遠総合医療センター線

< R 2 年度 >

R1. 10月~R2. 3月:約2.0人/日
R2. 4月~9月 :約1.6人/日

< R 3 年度 >

R2. 10月~R3. 3月:約1.7人/日
R3. 4月~9月 :約1.9人/日

浅羽・中東遠総合医療センター線

< R 2 年度 >

R1. 10月~R2. 3月:約3.2人/日
R2. 4月~9月 :約2.8人/日

< R 3 年度 >

R2. 10月~R3. 3月:約2.9人/日
R3. 4月~9月 :約2.8人/日

両路線とも、利用のほぼ全てが中東遠総合医療センターへの利用であり、利用者数は昨年度実績と同程度となった。

No.	路線名	R2年度 (R1.10~R2.9) 実績値	R3年度 (R2.10~R3.9) 目標値	R3年度 (R2.10~R3.9) 実績値	達成状況
④	予約型乗合（デマンド）タクシー 宇刈地区	3.2人/日 (586人)	3.6人/日	2.6人/日 (350人)	未達成
⑤	予約型乗合（デマンド）タクシー 浅羽南地区	3.1人/日 (593人)	3.0人/日	3.0人/日 (567人)	達成
⑥	予約型乗合（デマンド）タクシー 浅羽西地区※	—	2.1人/日	1.6人/日 (39人)	未達成

宇刈地区

< R 2 年度 >

R1. 10月~R2. 3月:約3.4人/日
R2. 4月~9月 :約2.8人/日

< R 3 年度 >

R2. 10月~R3. 3月:約2.8人/日
R3. 4月~9月 :約2.4人/日

浅羽南地区

< R 2 年度 >

R1. 10月~R2. 3月:約3.3人/日
R2. 4月~9月 :約2.8人/日

< R 3 年度 >

R2. 10月~R3. 3月:約3.3人/日
R3. 4月~9月 :約2.8人/日

※浅羽西地区はR3. 4~運行開始

両地区は、H29年度の運行開始より利用者数の増加は継続していたが、R2. 4月以降は新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が低減している。

R 3 年度においては、宇刈地区は減少が続いているが、浅羽南地区はR 3 年度前期では増加に転じたものの、4月以降は昨年度と同水準まで再び低減している。

【今後の対応方針】②~⑥

各地区における利用者数は一定数あるものの、実利用者数は少数にとどまっているため、より多くの利用者に利用方法等の周知を更に実施する。

また、地域公共交通計画において、地域主体の移動手段の導入も計画していることから、幹線を軸とした市内の公共交通網の新たな運行方法についても検討していく。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 4 年 1 月 21 日

協議会名: 袋井市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
秋葉バスサービス(株)	袋井駅・中東遠総合医療センター線	令和3年4月より袋井高校を経由するルートに変更し、高校生の通学利用が可能な時間に運行ダイヤを一部改正して運行を開始した。	A 計画どおり運行された。	B 目標利用者数52.1人/日に対し、36.2人/日であった。 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少したものの、4月からは運行経路変更に伴い利用者数が増加に転じている。	市内から中東遠総合医療センターへの公共交通として、H25.5月に運行を開始したが、移動手段として重要な路線であることから、このコンセプトは維持しつつ、高校生の通学利用が可能となったことから、学校や事業者と連携した更なる利用促進に努める。
遠鉄タクシー(株)	以下の路線・地区において、予約型乗合(デマンド)タクシーを運行 ①山梨・中東遠総合医療センター線 ②浅羽・中東遠総合医療センター線 ③宇刈地区 ④浅羽南地区 ⑤浅羽西	市内路線の見直しに伴い、令和3年4月より浅羽西地区を追加した。	A 計画どおり運行された。	B ①山梨・中東遠総合医療センター線 目標利用者数2.5人/日に対し、1.8人/日であった。 ②浅羽・中東遠総合医療センター線 目標利用者数3.2人/日に対し、2.8人/日であった。 ③宇刈地区 目標利用者数3.6人/日に対し、2.6人/日であった。 ④浅羽南地区 目標利用者数3.0人/日に対し、3.0人/日であった。 ⑤浅羽西地区 目標利用者数2.1人/日に対し、1.6人/日であった。 中東遠総合医療センター線を中心に新型コロナウイルス感染症の影響により低減した利用者数の水準で推移しているおり、浅羽南地区を除き目標未達成となった。	各地区における利用者数は一定数あるものの、実利用者数は少数にとどまっているため、より多くの利用者にご利用方法等の周知を更に実施する。 また、地域公共交通計画において、地域主体の移動手段の導入も計画していることから、幹線を軸とした市内の公共交通網の新たな運行方法についても検討していく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 4 年 1 月 21 日

協議会名:	袋井市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持改善事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>袋井市では、令和3年3月に策定した地域公共交通計画の基本方針である「公共交通が移動手段として選ばれるまち」を実現するため、特に高齢者と高校生を対象として、公共交通に対する認識を高めることで、公共交通が必要となった時に気軽に使えるサービスの提供を目指す。</p> <p>上記の基本方針に基づき、以下の目標を定め、「運行」「サービス」「関係者意識」のレベルアップを図る事業に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none">1 市民に日常から認識してもらえる公共交通2 高齢者や高校生に移動手段として選んでもらえる公共交通3 地域で支え合う公共交通